

vol.24

START UP Company

今月の注目スタートアップ

ここで紹介するスタートアップ企業は、ふくおかフィナンシャルグループの投資会社 FFGベンチャービジネスパートナーズが運営するベンチャーファンドが投資しています。



#KotoznaはAI翻訳などの
最先端のテクノロジーを活用し、
「言葉のカベ」を解消します。

宿泊事業者向け
”109言語対応”DXソリューション

 kotozna in-room



コトツナ
Kotoznaのミッションは、「言葉のカベ」という社会課題を、近年進化が著しいAIを活用した機械翻訳技術による最先端のテクノロジーを用いて解消することです。

言語のカベによる情報格差や障害を軽減するサービスを、日本のみならず、世界のあらゆる地域で提供することで、グローバルな規模で多言語環境を整えていきたいと考えています。

現在、機械翻訳等を活用した多言語チャットシステムをサービスの軸とし、事業者様向けの多言語化サービスとDXを促進するソフトウェアサービスを開発しています。

観光・宿泊関連施設向けには、自動翻訳でゲストとスタッフのコミュニケーションを円滑にし、同時にDXのアプローチで自動化や省人化を推し進める事業を展開しています。また、企業のグローバル展開を加速させる多言語カスタマーサポートサービスの提供、地域の文化財を多言語化し、外



Kotozna In-roomの画面イメージ。右が日本語利用のスタッフ、左が英語利用のお客様。チャットは翻訳され、スタッフもお客様も母国語でコミュニケーションが可能。

国人旅行者の日本文化への理解を深める事業などを展開しています。

コトツナ インルーム Kotozna In-room

「Kotozna In-room」は、宿泊施設向け109言語対応のDXソリューションです。お客様はアプリをダウンロードする必要なく、スマートフォンでQRコードを読み込むだけで、施設案内や周辺観光情報などをお客様の母国語で取得でき、施設内のどこからでもチャットでスタッフに質問やリクエストができます。PMS(予約管理システム)や自動精算機などの複数のデジタルソリューションと統合可能な拡張性があり、データ連携に伴うコスト負担低減や、宿泊客の利便性向上を支援します。現在、全国のホテル・旅館など約300の施設、約40,000室に導入いただいています。

コトツナ ラモンド Kotozna laMondo

「Kotozna laMondo」は109言語対応の、自動翻訳を搭載したチャットベースのカスタマーサポートツールです。電話やメールなど複数チャンネルでの多言語対応に課題を抱える事業者様に最適なソリューションです。メッセージはリアルタイムで自動翻訳されるので、お客様もスタッフも母

国語でコミュニケーションを取ることができます。1.月額1万円から利用でき、運営規模に合わせたフレキシブルなプランを提供

2.不在時の問い合わせには、自動翻訳済みの返信メールを送受信することが可能

3.お客様のお問い合わせ入り口としてQRコードやURL経由のアクセスにも対応

地方のインバウンド観光を活性化、 観光エコシステムの構築、 そして世界の社会課題の解決へ

今後は、弊社の多言語プラットフォームを軸として、宿泊施設のみならず、地域全体が活性化できるような観光エコシステムを整備します。言葉のカベの解消に加え、決済や移動のさらなる円滑化を実現し、観光客の回遊を促進するテクノロジー基盤を構築していきます。



会社概要

Kotozna株式会社

代表取締役 後藤 玄利

所在地 東京都港区元赤坂1-7-20
メットライフ元赤坂ウエスト 1F

メールアドレス info@kotozna.com

ホームページ https://kotozna.com/

